

“檜の匂いのする本格的な木造建築”で年商10億円

日高機械の技術協力を得、5年かけた共同開発機 ニュープレカット『スーパー木材加工機』を1億2千万円で導入 大幅な時間短縮と作業コスト削減が実現！



有限会社 田辺建設
代表取締役 田辺 勉

東三河で神社・仏閣、一般木造住宅建築の設計から部材加工、施工までを業務とする田辺建設(田辺勉社長)は、宮大工職人の技術を生かし“オールムク・無節”の檜の匂いのする本格的な木造住宅建築を低価格で愛知県下、とくに東三河地域、静岡県西部での新築や改築工事を中心に手がけ、年商10億円にのぼる施工実績を誇っている。

同社は、今までにない効率的な建築事業を推進し、7年前から合理的な生産工程を重視する作業改善の一つとして取り組んでいるのが、材の加工作業場から各種建築部材加工できる工場への近代化で、最新加工設備等の充実を前向きに進めてきた。とくに手作業による部材加工にかかる手間の無駄をできるだけ機械化し、スピーディで高能率な作業環境づくりを通して材料コスト削減が実現する体制をめざしている。なかでも今年(2004年)6月、新たに三上工場に

導入配備した「スーパー木材加工機」は、同社のニーズに合う最新鋭加工機械で、石川県の日高機械グループと5年間かけて共同開発を進めた田辺鉄工所製ニュープレカットHシステムを、田辺建設の加工ノウハウに特化した仕様で改良した「H03104型」、同機種の1号機を1億2,000万円で購入した。

従来、熟練大工職人が手間をかけていた社寺建築用の太角加工や宮大工ならではの複雑な構造材の継ぎ手、仕口加工、そこで発揮される熟練作業のノウハウがCADとコンピュータ制御装置の一体化により、独自の木材加工機の配備から、切断・穴あけ・刻みによる採寸、切削等の加工、仕上げまで、高度な加工内容を特性とする同社構造材加工の全工程をCADと制御装置で管理。物件データをパソコンで入力し、角材をセットすれば、自由自在に角材を回転したり、加工目的に合わせてATC自動

工具交換で全自動加工する優れたもの。迅速に高精度な仕上がりが得られるため、加工時間の短縮や、建築現場における細部の手直し加工の必要が解消、組み付け作業の時間短縮にも貢献するなど、各種の利点により大幅なコスト削減が実現した。

スーパー木材加工機には、さらに繊細な加工も施せる専用CADソフトも現在、京都の福知山コンピュータにソフト開発を依頼しており、完成すれば、腕利きの宮大工以上の仕事が短時間でこなせるようになる。さらなる近代化への期待も膨らむ最新鋭加工機械設備と言える。

田辺勉社長は「高価な加工機械設備だが、一般住宅で加工能力が月3棟に増強、売り上げ倍増に結び付けることができた。今年は24棟の受注を見込んでいるが、このうちすでに19棟が成約。機械化を通じた生産アップでさらに10棟の受注追加がめざせるメリットは大きい」と、積極的

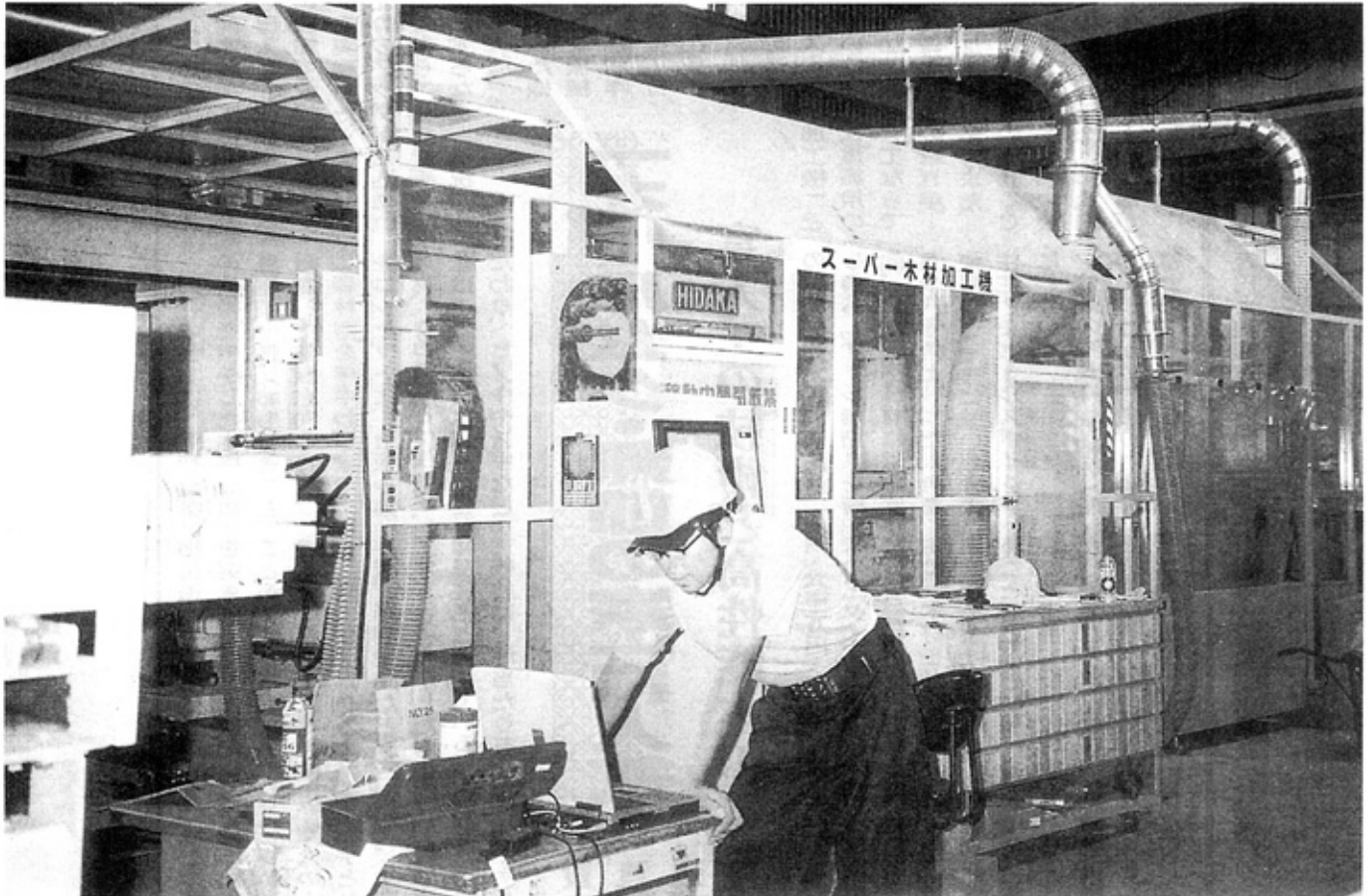


〔社寺建築・一般木造住宅の設計・施工〕

■有限会社 田辺建設■

本 社：〒442-0019 愛知県豊川市東名町2-21
 TEL.0533-86-5475 FAX.0533-86-0316
 三上工場：〒442-0812 豊川市三上町東畑2-2
 TEL.0533-83-1528 FAX.0533-83-1338
 建具工場：〒442-0019 愛知県宝飯郡一宮町大字大木字新町通342-2
 TEL.0533-92-1858 FAX.0533-92-1860
 URL <http://www.tanabekensetu.com/>
 E-mail: tanabekensetu@yacht.ocn.ne.jp

依頼CADソフトが加味すれば、
 腕利きの宮大工職人の仕事が短時間でこなせ、期待は更に飛躍



5年がかりで日高機械と共同開発に取り組んだ1億2千万円の高価なニューレカットHシステム特仕機械だが、月3棟の加工能力を誇り、売上倍増に結び付く最新鋭機として評価は高い

な木造健康住宅づくりに取り組んでいる。

同社は、建築構造部材加工中心の三上工場と、内装材、ドア・建具の製造を目的とした建具工場(建具職人4人)の2工場を有する。

建築に使用する材木は、すべて原木から直接仕入れ、常備1億8,000万円分の在庫を保管。また、建具類も自社製造で、材料費関係は黒字だが、施工面では職人への人工(にんく)賃が赤字となり、その対策として作業

時間の組み直し、筋交いと壁ユニット部材については“田辺式壁工法”で工場生産化、現場で組み立てる作業を廃して工機短縮に努め、人工費を従来の3分の1とすることで赤字縮小したが、解消までに至らなかつ